

設問①及び② 市町村及び保健福祉事務所・センター 回答まとめ表

市町村名	退院調整ルール等の有無						退院支援を進める上で課題となっている事柄 ＜特に重要だと思う課題には◎＞													
	有			無			医療機関によっ て退院調整方法 が異なる	医療機関におけ る介護保険制度 や介護サービス 資源の知識不足	ケアマネジャー 等の医療に関す る知識不足	介護施設等にお ける薬剤や医療 的ケアに対する 苦手意識・人材 不足	退院患者が必要 とするサービス が充分にない	カンファレンス 等に患者家族の 協力が得られな い・在宅医療に 拒否感がある	策定したルール が活用されてい ない	その他						
	策定済	策定中	地域に 既存有	策定の 必要なし	団体調整	その他														
横浜市	○						◎	◎	◎											
川崎市						○	○													
相模原市						○	○	○	○					○						
横須賀市		○					○	○	○					◎						
鎌倉市			○			○	○	○	○	○				○						
逗子市					○	○	◎	○	○	○	○									
三浦市						○	◎					○								
葉山町						○		◎	○	○				○						
藤沢市				○			◎	○	○											
茅ヶ崎市			○			○	○		○					◎						
寒川町					○		○	○	○	○	○	○								
平塚市						○	○	◎	○	◎				○						
秦野市			○				◎	○	○	○										
伊勢原市	○						○	○	○	○	○	○								
大磯町						○				○	◎									
二宮町						○	○													
厚木市				○			◎													
大和市						○	○	○	○	○		○								
海老名市					○		◎													
座間市																				
綾瀬市						○	○	○			○									
小田原市						○	◎	○	○											
南足柄市						○	○		◎	○										
中井町					○		◎							○						
大井町					○		◎		○											
松田町					○		◎													
山北町						○					◎									
開成町				○			◎													
箱根町						○	○													
湯河原町						○								◎						
保健福祉事務所回答																				
平塚							○								○					
秦野							○												○	
鎌倉							○	○				○		○						○
足柄上							○	○				◎		○	○	○				○
厚木							○	○				◎								○
大和						○	◎	○	○	○	○	○								
記入者数	2	1	3	4	6	22	29	15	19	12	8	5	0	12						
○を1点、◎を2点とした際の点数							44	18	21	13	10	5	0	15						

調査項目② 退院支援を進める上で課題となっている事柄
 選択肢：その他（自由記載） まとめ

市町村

横須賀市	・病院スタッフが在宅療養生活を十分にイメージできていなかったり、在宅スタッフが病院の仕組みを理解できていなかったりと、お互いの状況を理解できておらず、誤解が生じている。（介護保険サービス、医療の内容といったことだけでなく） ・患者・家族が早期退院を理解していない。
鎌倉市	市民の医療機関の機能の違いを含め、在宅医療に関する知識不足
葉山町	町内に総合病院がないことから、町民である患者が退院してくる医療機関は広域にわたるため、一定のルール下で退院調整を実施していくには困難がある。
茅ヶ崎市	病院関係者の在宅医療の知識不足
平塚市	入院期間の短縮化により、カンファレンスに支援機関が参加できず、十分な情報共有が図れていない。
中井町	医療職及び介護職どちらか一方の問題ではなく、双方の連携、資源共有に隔りがある。
湯河原町	退院支援に関わる関係者の顔が見える関係づくり

保健福祉事務所・センター

平塚	各機関及び各分野のスタッフとも十分な知識を有し、積極的に取り組んでいるが、多職種間で円滑な退院支援を進めるに当たり、従来からの職種間ごとの連携の度合い、情報の保有状況が異なることから、その均衡を図っていく必要があると考える。
秦野	医療機関によって退院調整マニュアルやフローチャートが作成されている。今年の研修において、各医療機関の退院調整の状況について共有した段階であり、共通の退院ルールを策定するためのプロセスを踏む時間が必要。
足柄上	退院患者により、退院調整方法が異なる。 基幹病院で実施されている在宅療養後方支援体制の推進と地域の開業医との連携。
厚木	I C T化において、特に医療介護連携で市町村ごとに採用されているソフトが様々で統一されていないため、市町村単位で完結できない（市をまたぐ）ケースに対応できていない。

調査項目③ 円滑な退院支援を進める上で県に期待する事柄（自由記載） まとめ

横浜市	ケアマネジャーの質の向上・底上げは必要。そのための研修等の機会を設けること。
川崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都福祉保健局が作成しているような、県下統一の『退院支援マニュアル』の策定 ・入院医療機関や在宅医療介護連携に関する相談窓口事業の実務担当者に対する退院支援・在宅療養移行等に係る研修の実施。
相模原市	先進的な事例の集約、課題の抽出 県域を超えた広域的な退院調整ルールの策定
横須賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の機能や立地によっては、市町村、または二次医療圏の枠を超えて住民が利用している。また、自治体により医療資源や背景は様々であると思われる。そういった場合を考えると、県による大まかな方針の提示があると適当かと考える。 ・病院は治療の場であり、早期退院が当たり前になるということの市民啓発が必要。各市町村でも取り組むべきだが、県にも啓発をしていただきたい。
鎌倉市	市民は市外の医療機関からも退院してくるので、市外の医療機関の情報把握を市だけで行っていくには限界があると感じています。
葉山町	上記欄に記載のとおり、町民の退院調整を必要とする医療機関は広域にわたり、医療機関サイドから見ると退院する患者さんごとに（自治体ごとに）ルールが異なるのは混乱のもとになると思われます。また自治体サイドから見ると医療機関の所属する地域の社会資源と、こちらの状況が異なることも想定され、医療機関と退院調整する上での共通理解が得られにくい状況も想定されます。以上のように1自治体でルール策定に取り組むには課題が伴うため、広域的な取り組みとして県に調整していただけるとありがたいです。
茅ヶ崎市	ICTの県域統一をして頂けると有り難いです。
平塚市	近隣市の医療機関や医師会との調整役となり、県内で共通するICTシステム等の運用につなげてもらいたい。
秦野市	医療部門の団体や機関に向けて発信されている情報を、介護部門の団体や機関にも提供していただきたい。
大磯町	各地域で病院やサービスの資源も違うので、それぞれに進めていくことにはなりますが、県内の先進事例の紹介や保健福祉事務所による市町村支援を強化していただきたいと思います。
二宮町	医療機関や医師会への周知、調整、情報収集等
綾瀬市	県内の関係団体（医療機関含）間で、退院支援に関する意識を共有する場を設けていただきたい。
小田原市	県が市町村に対する支援が不明瞭なため、県ができることを示してほしい。 今後、在宅サマリーを作成するに当たり、メンバーに入り、他市の状況等のアドバイスをしてほしい。
南足柄市	精神疾患（アルコール含む）患者の入退院にあたっては、市町村職員が対応することも多くなっている。しかし、知識や経験不足により苦慮することが多い。事例によっては複数の職員で検討するなどして対応すべきことも多いため、ケース対応について経験豊富な保健福祉事務所等の県職員の方々に支援をいただけるとありがたい。
開成町	各市町村や病院での退院調整のしかたについての情報提供
箱根町	本内容は、広域的な範囲でのルール作りが必要であると考えたため、県と県医師会とが調整し、県が、基本的なルールやマニュアルを作成するなど、県主導で実施してほしい。